



自然・情景を表す四字熟語

熟語

意味・例文

いっせきにちょう
一石二鳥

一つのことで、二つの良い結果が得られること。

通勤中に英語を勉強すると一石二鳥だ。

ばじとうふう
馬耳東風

人の言うことを、まるで聞いていないように聞き流すこと。

注意しても彼には馬耳東風だった。

めいきょうすい
明鏡止水

心がとっても落ち着いていて、一点の心配もない状態。

禅の境地は明鏡止水だ。

くぜんぜつご
空前絶後

これまでになかったし、これからはないだろうというくらい、ものすごく珍しいこと。

空前絶後のヒット作となった。

じゅんぷうまんぱん
順風満帆

物事が何の困ったこともなく、とても順調に進むこと。

彼の人生は順風満帆に見えた。

わようせっちゅう
和洋折衷

日本のものと外国のもの(洋風)を、うまく組み合わせる使うこと。

和洋折衷のインテリアが人気だ。

にっしんげっぽ
日進月歩

毎日、そして月ごとに、どんどん新しい技術や知識が進んでいくこと。

科学技術は日進月歩で進んでいる。

しつじつごうけん
質実剛健

飾り気がなくて、本当に大切なことをしっかり持ち、体も心も丈夫で強いこと。

質実剛健な校風が特徴だ。

ひゃっかりょうらん
百花繚乱

色々な種類の花が、一度にたくさん美しく咲く様子。たくさんの人が活躍する様子にも使う。

戦国時代は百花繚乱だった。

さんせんそうもく
山川草木

山や川、草や木など、地球にある自然のものをすべて指す言葉。

山川草木に春が訪れる。

かちょうふうげつ
花鳥風月

自然の美しい景色や、そこから生まれる素敵な気分を楽しむこと。

花鳥風月を楽しむ余裕を持ちたい。

いちぼうせんり
一望千里

高いところから遠くまで、とても広い景色を一度に見渡せること。

丘の上から一望千里の景色が広がる。

がでんいんすい
我田引水

自分のことだけを考えて、自分にとって都合の良いように物事を進めること。

彼の発言は我田引水に聞こえる。

さんかんしおん
三寒四温

冬の終わりから春にかけて、寒い日と暖かい日が繰り返される気候のこと。

三寒四温で春が近づく。